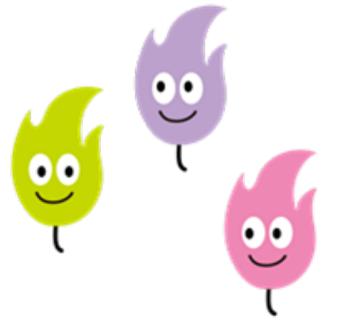


ともに市民社会をつくる



学びのコミュニティ

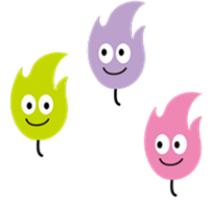
ともしび



事業の背景

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



- **NPO 法人の 2/3 が人材育成に課題を抱えている**

内閣府 R5 調査で 65.6%が課題としてあげた。どの調査でも傾向は同じ。
(https://www.npo-homepage.go.jp/uploads/R5_houjin_report.pdf)

- **課題解決や活動のあり方の多様化／「NPO らしさ」が問われている**

一般社団法人やプロジェクト型など課題解決のあり方は多様化。
「NPO らしさ」とは何か、あらためて問われている。

- **体系化された NPO 向け研修がない**

各 NPO 支援センターが模索しているものの、体系化されたものは少なく、かつリーチも不十分。活動をしているが NPO に関する知識を得る場を持っていないために、事業が軌道に乗った後で「NPO とは」を改めて学びたい層がいる。

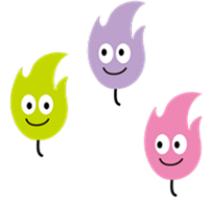
- **集い、交流し、学び合う場が減少**

設立相談を NPO 支援センターにしない団体の増加やコロナ禍の影響により、活動分野を超え学び合う機会が減っている。集合型・課題持ち寄りの相互研鑽の場を求める声がある。

事業名「ともしび」

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



本事業は、日本NPOセンターが運営する新しい開かれた学びのコミュニティです。

連続講座「**NPOスクール**」と継続した交流・学び合いの場「**ひみつゼミ**」を開講します。地域や分野、法人格の種類を問わず全国からNPO・市民活動を行う人や団体、その支援者、あるいは関わりのある行政・企業の担当者が参加できます。

課題や活動が多様化する中でコロナ禍の影響も受け、ここ数年NPOでは地域や分野を超えた交流や学び合う機会が減少していました。さらに、内閣府『特定非営利活動法人に関する実態調査（令和5年度）』によれば、65.6%の団体が「人材の確保や教育」を課題としており、限られたメンバーで奮闘するNPOも少なくありません。

私たちはより良い明日へ向かって一人ひとりが自由に活動・参加でき、つながり、協力し合える社会が「市民社会」の一つの姿だと考えています。さらなる市民社会の創出へ向け、あるいは共通する根底の構造的な社会課題に挑むには、垣根を越えて「横串」を通す新しい場づくりとつながりが必要だと考えました。

「ともしび」には、一人ひとりが社会の「**灯**」であり、この場が**とも**に市民社会（Civil Society：**シビル**・ソサエティ）をつくる場になってほしい願いを込めました。NPOが孤立せず持続・発展的な活動をすすめられるよう、多彩な講座や学び合える仲間づくりの場がここにはあります。ぜひ、あなたもご参加ください。

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ 「ともしび」

NPOスクール

組織の基盤編

(3回)

+
プレゼミ

事業の評価編

(3回)

+
プレゼミ

未来の想像編

(3回)

+
プレゼミ

調査の基本編

(3回)

NPOと行政の
協働編

(3回)

政策の提言編

(3回)

ひみつゼミ ※夏頃にご案内予定/NPOスクールと異なる場です

ひろげるゼミ

みなおすゼミ

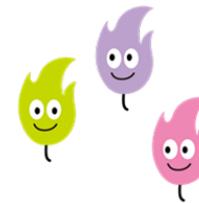
つづけるゼミ

成果報告会

NPOスクールの概要

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



組織の基盤編

2025年7月17日

～8月21日

[詳細はこちら](#)

事業の評価編

2025年8月28日

～9月11日

[詳細はこちら](#)

未来の想像編

2025年10月

(日付調整中)

[詳細はこちら](#)

調査の基本編

2025年12月4日

～12月18日

[詳細はこちら](#)

NPOと行政の協働編

2026年1月8日

～1月22日

[詳細はこちら](#)

政策の提言編

2026年2月5日

～2月19日

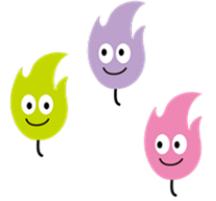
[詳細はこちら](#)

- ・「組織の基盤」「事業の評価」「未来の想像」「調査の基本」「NPOと行政の協働」「政策の提言」6つのテーマがあります。1テーマは3回の学びの場で構成されています。
- ・基本的にはオンラインになりますが、未来の想像編 第3回はハイブリッド開催を予定しています。
- ・全ての内容はアーカイブで共有、2025年度内はご視聴いただけます。

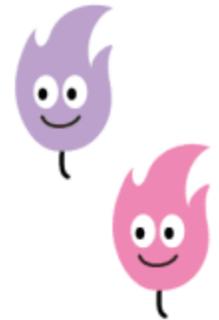
NPOスクール

ともに市民社会をつくる  学びのコミュニティ

ともしび



- ・ 同じNPO や市民活動を行う仲間とのつながりを増やしたい
- ・ NPO や活動の基礎知識を学びたい、学び直して今後について考えたい
- ・ スタッフやメンバーの教育・研修を検討、または見直したい
- ・ コストを抑えて研修がしたい、専門的な知識や実践を学びたい
- ・ 支援センターやネットワーク、フリーランスなどで NPO を支援する支援者
- ・ NPO との連携や協働、支援を考えたい行政あるいは企業の担当者



※行政職員の方のご参加も歓迎です

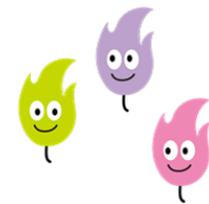
※2024年度は全国から延べ464名が参加しました

組織基盤強化の1歩目に！ 組織の基盤編

ともに市民社会をつくる

学びのコミュニティ

ともしび



「これまで団体運営について考える機会が十分になかった」「組織の基盤強化に取り組みたいと思っても、何からはじめて良いのか分からない」「長年活動してきたが、中心メンバーに依存して人材育成や世代交代がすすまない」など。組織の基盤編は、このような団体のお悩みをお持ちの人たちにおすすめてです。

本編では、組織基盤の強化に向けた基本的な考え方を学び、組織診断チェックリストを活用した組織診断や課題の抽出・分析、共有を通して自団体の課題を認識し、組織基盤強化に取り組んでいくための方法と必要な情報を得ることを目的として開催します。

日付：2025年7月17日（木）、8月5日（火）、8月21日（木）

※本テーマに関心ある方が交流と学びを深めるプレゼミも8月26日（火）に実施します。すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

登壇者：河合 将生さん（NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime）、原田 昌樹さん（認定特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン）、松浦 史典さん（認定特定非営利活動法人ホープ・インターナショナル開発機構）

協力：パナソニック ホールディングス株式会社



モデレーター：河合さん

組織運営にお困りの方、一人で抱え込みがちな方におすすめて！
基盤強化に活用できる助成金情報も！

大切にしていること（価値）を 分かち合うために 事業の評価 編



「事業の評価」には、事業の成果を評価するだけでなく、目的に応じてその事業のプロセスやニーズも含めた多様な評価の段階とそれに合わせた方法が含まれます。メンバー間でずれ違わず、よりよい活動に近づくために、私たちはどのように事業の評価に向きあい取り組めばいいのでしょうか。

本講座では、NPO活動をより豊かにするための多様な「事業の評価」の基礎知識とともに、大切にしていること（価値）の言語化と事業を評価する指標づくりに取り組めます。

日付：2025年8月28日（木）、9月4日（木）、9月11日（木）
※本テーマに関心ある方が交流と学びを深めるプレゼミも9月25日（木）に実施します。すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

登壇者：松村 幸裕子さん（共奏学舎／NPO事業評価コーディネーター友の会（NECOゼミ））、江藤 大裕さん（福島市子ども食堂NET／一般社団法人CARNIVAL WORKS）、園田 愛美さん（特定非営利活動法人 かがしまこども食堂支援センターたくして／元小学校教師）

協力：NPO事業評価コーディネーター友の会（NECOゼミ）



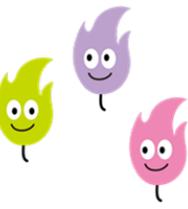
モデレーター：松村さん

なぜか活動が空回りしてしまうなど、活動を強化したい方、事業の評価に初めて取り組む方にもおすすめ！
同じ団体で複数人参加が効果的です。グループワークや事前課題もあって充実！

社会を見つめる 未来の想像編

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



NPOや市民活動は、日本社会に根づいてきたと言われていています。しかし、「社会課題の解決」という言葉が広がる一方で、本当に私たちの目指す社会に近づけているのでしょうか。活動の現場で感じるもどかしさや限界感——それは、当事者の声が届きにくかったり、仕組みが固定化していたりすることに原因があるのかもしれませんが。では、どうすればこの窮屈さを乗り越え、もっと自由で多様な社会のかたちを描けるのでしょうか？

日々の活動を通じて現状を変えていくために、それぞれの立場や枠を越えて、よりよい未来をともに想像し、今を捉え直すことが求められているのではないでしょうか。

日時：10月上旬、中旬、下旬

※決定次第ウェブサイトに掲載。下旬開催回はハイブリッド開催です。

※本テーマに関心ある方が交流と学びを深めるプレゼミも10月28日（木）に実施します。すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

登壇者：久保田 翠さん（認定特定非営利活動法人 クリエイティブサポートレッツ）、岡島 喜久子さん（日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）初代チェア）、渡邊 優子さん（村上市教育委員会学校教育課未来の学校創造室 部活動地域移行総括コーディネーター）、南 信乃介さん（特定非営利活動法人1万人井戸端会議／那覇市繁多川公民館）、長澤恵美子さん（共奏学舎／元 一般社団法人日本経済団体連合会）

協力：わくわく共創オフィス



モデレーター：長澤さん

現場の実践者と社会を俯瞰するスピーカーと参加型の対話！調整中のゲストはあっと驚く方の予定です。日々の活動、視点のアップグレード間違いなし！対面で深く語り合いましょう。

事実を正確に把握し社会に 訴えかけるために 調査の基本編

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



活動を行う際、地域や社会の実態把握は必要不可欠です。実態を正確に把握することは、周囲の理解を広げ深める側面や課題を解決するための指標づくり、提案・提言、あるいは価値を創出する成果の指標など、あらゆる基礎的な部分と言っても過言ではありません。そこで、あらためて社会調査の基礎知識や質的調査・量的調査の方法について学ぶ講座を開講します。（内容：調査を設計する／集めたデータを分析する／自由記述を読み解く）



日時：2025年12月4日（木）、12月11日（木）、12月18日（木）

※すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

講師：須田さん

内容：調査を設計する、集めたデータを分析する、
自由記述を読み解く

登壇者：須田 木綿子さん（東洋大学 特任教授）

Yinという著名な社会学者曰く、「調査を始める前に時間とお金の80%を使え」。調査は設計がすべてであり、設計が不十分であると、どのように熱心な回答が寄せられても、また、どのような分析をしても、深まりのある成果は得られません。受講生の皆さんに調査設計をしていただき、受講生が回答者となってデータセットを作成する、参加型のスタイルで進行します。パソコンからご参加ください。

市民主体のまちづくりを目指して NPOと行政の協働 編



地域の課題や困りごとについて取り組む時、どうしたら行政や多様なセクターと対等に互いの強みを生かしながら連携や協働をしていくことができるでしょうか。各自治体で協働のための指針や施策が整備される中、改めて大事な原則を共有し、互いの特徴や機能、強みや専門性を分かち合い協力し合う機会づくりが必要とされています。

本講座では、協働の潮流や基礎知識、行政の政策・予算立案のしくみや協働事例を知ることができます。市民主体の協働を実現していくためのポイントを学び合いましょう。

日時：2026年1月8日（木）、1月15日（木）、1月22日（木）
※すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

登壇者：椎野 修平（認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 特別研究員）、保坂 久さん（南アルプス市市民活動センター／山梨県立大学非常勤講師）、三好 祐也さん（認定特定非営利活動法人 ポケットサポート）、高平 亮さん（特定非営利活動法人岡山NPOセンター）他

協力：NPOと行政の協働タスクチーム

NPOが行政が協働する制度やしくみ、事例の分析から多様な主体の連携や市民のエンパワメントを生む協働を考えます！これからしかけていきたい方にお薦め！

アドボカシーを学ぼう！ 政策提言 編



政策提言は、社会の課題を解決し、より良い未来を築くための強力な手段のひとつです。ロビイングやアドボカシーなどを通じて、私たちの声を政策決定者に届け、実際の変化をもたらすことができます。

本編では、草の根型で行う政策提言の大切なポイントや、地域の施策や活動に活用するためのノウハウを学びます。実践者から直接学ぶことで、政策提言やロビイング、アドボカシーに関する基礎的な考え方と具体的な方法を身につけましょう。

日時：2026年2月5日（木）、2月12日（木）、2月19日（木）
※すべて時間帯は13:30～15:30です（アーカイブ視聴あり）。

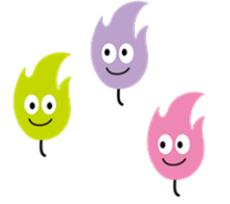
登壇者：登壇者：米山 廣明さん（一般社団法人全国フードバンク推進協議会）、関口 宏聡さん（特定非営利活動法人セイエン）、大野 覚さん（認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター・コモンズ）、小林 芽里さん（NPO法人ぐるったネットワーク大町／特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター）、秋山 政明さん（一般社団法人Burano 理事／茨城県議員）他

協力：アドボカシー情報交換会



モデレーター：大野さん

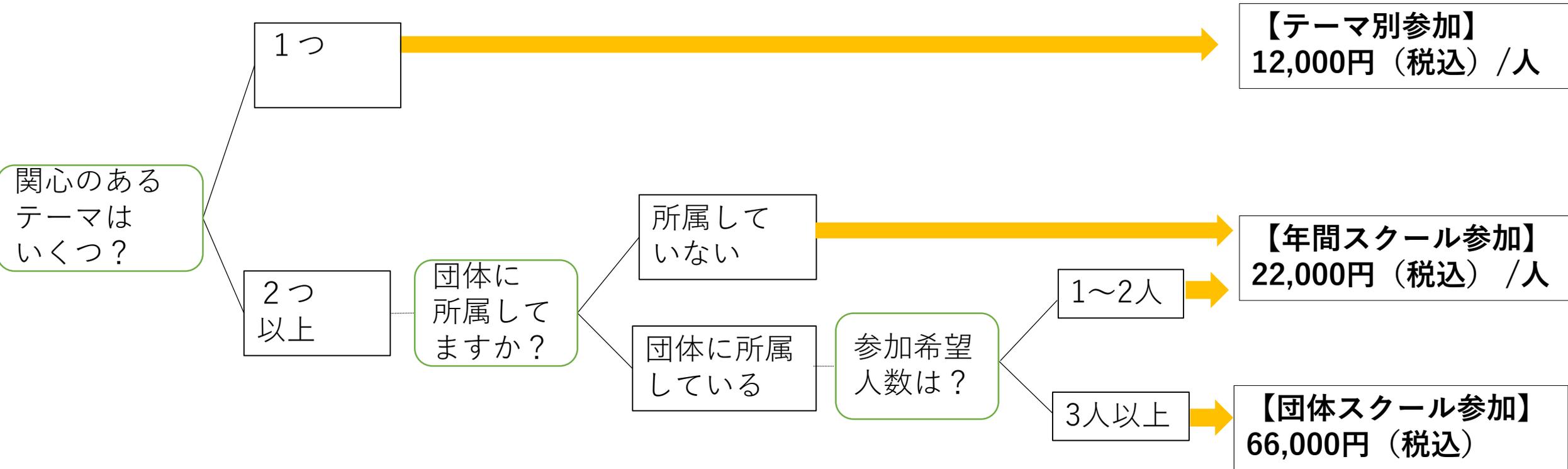
声を届けるための効果的な方法とは？初めて政策提言に取り組む方、大歓迎です。誰のためにどうやって提言をするのか、実践者や議員との対話を通じて考えていきましょう！



NPOスクール ポイント ともしび

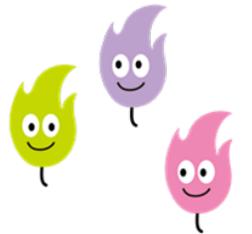
1. 6つのテーマの掛け合わせによる気づき・実践力のアップ！
 2. 現場の実践者や政策決定者、専門家などの多様な話題提供者
 3. 手を動かすワーク型、聞くだけでもOK、対面参加など自由な参加形態
- ーワークに取り組むと学びが深まる：組織の基盤編（第2回）、事業の評価編（第2回・第3回）、調査の基本編（全3回）
- ーハイブリッド参加：未来の想像編（第3回）

おトクに参加するには

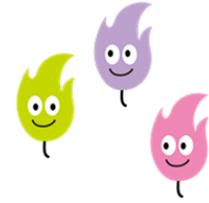


【団体参加がおトクです！】

日本NPOセンター非会員団体の場合、+10,000円の正会員入会金が必要ですが、当日同じ団体から3人同時に参加OK、毎回受講者を変えてご参加いただけます。団体内でアーカイブ共有OK！
入会いただくことで日常的な相談も無料でお気軽に可能！



NPOスクール 参加形態・参加費



■参加方法を選ぶ

1つのテーマのみ参加したい方



【テーマ別参加】12,000円（税込み）

申込者のみ、そのテーマのみ参加できます

2つ以上のテーマに参加したい方



【年間スクール参加】22,000円（税込み）

申込者のみ、全6テーマに参加できます

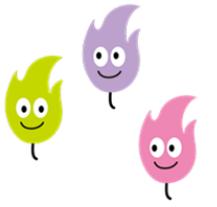
団体として参加したい方



【団体スクール参加】66,000円（税込み）

団体内の誰でも、全6テーマに参加できます

※日本NPOセンター正会員団体が対象です。
※当日同じ団体から「団体スクール参加」としてご参加いただける人数は、3名までです。



Point! アーカイブを活用して参加できます（全ての参加方法で可能）

組織の基盤編

第1回 当日参加

第2回アーカイブ視聴

第3回 当日参加

※アーカイブは、2025年度内何度でも繰り返し視聴できます。

（おすすめ！）**団体スクール参加**の場合は、全6テーマ・団体内の誰でも当日3名まで参加できます

組織の基盤編

第1回 Aさん、Bさん、Cさん参加

第2回 Bさん、Cさん、Dさん参加

第3回 Cさん、Dさん、Eさん参加

調査の基本編

第1回 Dさん、Eさん、Fさん参加

第2回 Eさん、Fさん、Gさん参加

第3回 Fさん、Gさん、Hさん参加

政策の提言編

第1回 Gさん、Hさん、Iさん参加

第2回 Hさん、Iさん、Jさん参加

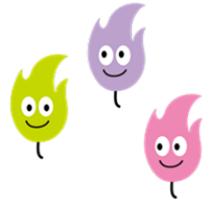
第3回 Iさん、Jさん、Kさん参加

※アーカイブは、団体内の誰でも、2025年度内何度でも繰り返し視聴できます。

参加者の声

ともに市民社会をつくる 学びのコミュニティ

ともしび



今回の学びに参加した理由は、26年以上仕事をしているのに、「NPOってなんだっけ？」という疑問と「このまま活動を続けていけるのかな？」という漠然とした不安があったからでした。少しでも皆様からなにかお知恵をいただけたら…と思って参加しました。結果、参加してとても良かったです。

協働を通じて、市民が公共の担い手としての能力をつけていくことが、「市民自治社会」をつくっていく上で重要だとわかった。

皆様の社会への疑問や活動に対してのスタンス。その、疑問に思うことを止めない姿勢に強く共感しました。答えが出ないこと、もやもやしたもの、不確実なことを、ごまかさずに見つめ続ける。それは、とても体力気力のいることですが、この集いの皆様はそれを実践をなさっている。

「それって大丈夫なのかな？」という疑問を持ち続けること。

決めつけではなく、一緒に考え続けることを私も地道に続けていこうと思えました。

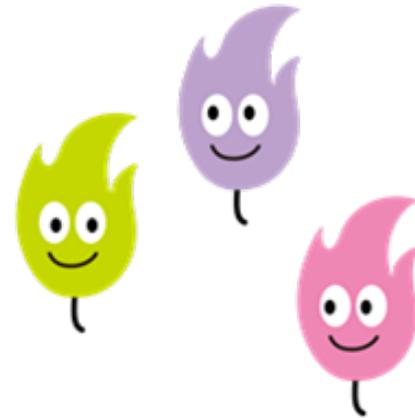
ありがとうございました！

ともに市民社会をつくる



学びのコミュニティ

ともしび



ともちゃん…？
しびちゃん…？
ともしろう…？

 7月17日（木） 13:30～スタート 

ぜひご参加ください！